

2018年8月1日

「クリーン・インド」のための インド版「おはなし隊」がスタート！

講談社（本社：東京都文京区）が創業 90 周年記念事業として 1999 年にスタートさせた「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」は来年 7 月で 20 周年を迎えますが、弊社はこれをモデルにしたインド版「おはなし隊」をスタートさせました。

本事業は JICA (国際協力機構)、伊藤忠商事株式会社、伊藤忠インド会社ならびにマルチ・スズキ・インド (スズキのインド子会社) の協力のもと、深刻化する環境問題を解決するためにインド政府が推し進める「クリーン・インド」に貢献するのが目的です。子供たちへの読み聞かせにはインドで出版されている、日本の絵本「もったいないばあさん」(ヒンディ語&英語のバイリンガル版)などを活用します。

【背景】

経済成長が続くインドではゴミの不法投棄や屋外排泄が恒常化しており、インド政府は 2014 年 10 月から「クリーン・インド (ヒンディ語で『スワッチ・バーラト』)」キャンペーンを展開し、インフラ整備を進めていますが、人々への啓蒙活動は遅れている状況です。そんな社会背景のなか、今回のプロジェクトは『もったいないばあさん』など日本の環境教育をテーマにした絵本を普及させ、インドの子供たちの意識改革を行い、環境・衛生問題の改善に貢献しようというものです。これはインドにおける課題解決型ビジネス (SDGs ビジネス) です。

本事業は 2016 年に JICA の「協力準備調査 (BOP ビジネス連携促進)」に採択されていますが、さらに今回、JICA 評価部の協力で事業の開発効果を検証する「インパクト評価」調査も同時に実施いたします。



講談社

プロジェクト概要

主宰 講談社

実施団体 Govindalaya、IJK(IJ Kakehashi Services)

協賛社 伊藤忠商事株式会社、伊藤忠インド会社、マルチ・スズキ・インドシア

協力 JICA(国際協力機構)、NBT(National Book Trust, India)

プロジェクトの目的

インドの子供たち(9歳~12歳)に絵本「もったいないばあさん」シリーズを読み聞かせ、環境・衛生に関する啓蒙活動を行い、インド政府が推し進める「クリーン・インドシア」に貢献するのが狙いです。なお、小型トラックを改造したキャラバンカーの内部には約300冊の絵本を搭載しており、移動図書館の機能も兼ね備えています。

対象地域と学校

- ・首都デリーおよび近郊のハリヤナ州の政府学校が対象です。
- ・約40名×30校の生徒に各3回ずつ、のべ3600名に絵本の読み聞かせと環境教育のアクティビティを実施します。
- ・インパクト調査は実施30校と非実施30校とを比較し、開発効果を検証します。
- *上記の計60校にベースライン調査を実施し、子供たちの現状を把握。事業の実施後に子供たちの知識・意識・態度などの変容、行動の変化を質問票調査で測定します。

読み聞かせキャラバン実施期間

2018年7月23日~10月末(予定)

★取材のご案内

8月下旬に絵本「もったいないばあさん」の原作者である、真珠まりこ氏が訪印する予定です。インド版「おはなし隊」に同行する真珠氏は、デリー市内の学校で「環境」をテーマにした授業を行います。なお、当日は伊藤忠彦・環境副大臣から絵本「もったいないばあさん」を1000冊・寄贈するセレモニーも同時に開催される予定です。日程は現在、調整中です。

全国訪問おはなし隊

1999年7月よりスタートした講談社創業90周年の記念事業。約550冊の絵本を積んだキャラバンカー2台が、全国を巡回し、子供たちに絵本の読み聞かせをするなどして本との出会いを届けています。

絵本「もったいないばあさん」について

著者は絵本作家の真珠まりこ氏。2004年刊行の「もったいないばあさん」は、日本以外ではフランス、中国、韓国、タイでも出版され、現在までにシリーズ計14冊、累計発行部数は100万部を突破している。2018年1月、インドの政府系出版社のNBT(ナショナル・ブック・トラスト・インディア)が「もったいないばあさん」(ヒンディ語&英語のバイリンガル版)を出版。2018年内には「もったいないばあさん まほうのくにへ」、「もったいないばあさんの いただきます」の2冊も出版される予定です。

